

## 市長記者会見

(令和4年6月定例会 記者発表)

令和4年6月3日

記者の皆さまには、ご多用のところ、ご参集をいただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症についてであります。昨日(6/2)現在のワクチン接種状況でございますが、接種対象者のうち、すでに3回目の接種を終えられた方の割合が50歳以上の方では92%に達しました。一方で、40歳代以下の方では59%と比較的低い状況が続いています。

こうしたことから、先月中旬より、毎週土曜日に「週末ナイト接種」を開始し、若い方たちが仕事終わりに接種できる環境を整えたところです。今月につきましても、明日4日と来週11日の2週にわたりナイト接種を実施し、引き続き接種率の向上に努めることとしておりますが、予約の状況は、まだまだ空きがあるようでございます。

6月中は3回目接種の十分な予約枠を設けておりますが、7月に入りますと、4回目接種の対象の方が増えてまいりますので、3回目接種を希望される方は、できるだけ6月中に接種を行っていただきますようお願いいたします。

また、4回目のワクチン接種についてでございますが、先月25日の厚生労働省令の改正を受け、同日付でワクチン接種等に係る補正予算を専決処分いたしました。3回目接種から5か月が経過した対象者から順次、接種券を発送しております。6月中は主に60歳以上の医療従事者や高齢者施設従事者・入所者の方の接種が中心となりまして、7月以降に一般の60歳以上の方の接種が本格的に開始される見込みでございます。

なお、基礎疾患のある方につきましては、6月1日から申請受け付けを開始しており、接種できる時期が来ましたら接種券をお送りすることとしております。

4回目の接種につきましても、今治市医師会をはじめ、医療機関の皆様に多大なご尽力をいただく中で、個別医療機関と集団接種会場で接種できる体制を整え、混乱なく安全に実施ができますよう、あらゆる事態を想定しながら、十分に調整を図ってまいりたいと考えております。

それでは、6月定例会への提出予定案件につきまして、私から発表をさせていただきます。

まずは、議会日程でございます。お配りしている資料の最後、14ページに添付をしておりますとおり、6月10日か

ら28日までの19日間でございます。

提出予定の案件は、資料の1ページに整理しておりますように、補正予算案が2件、条例案が5件、その他の議案が9件、専決処分などの報告が7件、合わせて23件でございます。

補正予算案の概要でございますが、補正予算の規模は、一般会計が26億6,604万6千円で、補正後の予算額を前年同期と比較しますと、1.3%の増、

国民健康保険特別会計は歳入予算の組替えに伴う補正ですので予算額の増減はございません。

全会計を合わせますと、前年比1.3%の減となっております。

それでは、案件の主なものについてご説明いたします。

去る4月26日に、事業規模約13.2兆円に上るコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が閣議決定されました。この対策は4本柱でございます。一つ目が「原油価格高騰対策」、二つ目が「エネルギー・原材料・食料等安定供給対策」、三つ目が「新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等」、最後 四つ目が「コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援」というこ

とでございます。本市にもこれに基づく交付金の通知をいただいているところです。

今回は、この国の支援をしっかりと活用しながら、感染症対策と経済活動の両立はもとより、物価高騰対策やDXの推進など、社会経済活動の下支えとなるような、市民生活に寄り添ったきめ細やかな施策を展開してまいりたいと考えております。

その主なものについて申し上げます。

まず1つ目、**新型コロナウイルス感染症対策の強化**についてでございますが、物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者の負担を軽減するため、タクシー事業者への燃料費支援や、日常でのしまなみ海道通行料金の負担に加え燃料高騰により更なる負担増となるしまなみ沿線地域において、生活実態を踏まえたニーズ等調査への協力世帯に対する支援を行うほか、今治キャッシュレス決済プレミアム還元事業、飲食店プレミアムクーポン事業に加え、サイクリングしまなみ2022の開催に合わせたウェルカムクーポン事業など、消費喚起と観光のリピート需要の促進により、地域経済の活性化を図ってまいります。

次に2つ目の、「市民が真ん中」のまちづくりでございます。

SDGsの達成に向けた取組の検討など、政策課題に対応する5つのプロジェクトチームを新たに立ち上げるほか、きめ細やかで質の高い市民サービスの実現に向け、伯方支所・しまなみ振興局合同庁舎の建設にかかる調査設計等を実施するとともに、支所移転後の跡地を地域の「にぎわい拠点」として有効かつ効果的に活用いただけるよう、スピード感を持った対応を進めてまいります。

3つ目は、「デジタル化の加速・スマートシティ今治の推進」でございます。

超高速通信基盤の未整備地区へのブロードバンドサービス提供に向け、電気通信事業者が実施する取組を支援することにより、条件不利地域の解消を図ってまいります。コロナ禍で急速に普及したテレワークなど、多様化する「新たな日常」に対応できる環境整備を広く促進しデジタル化を加速させ、誰一人取り残されない人に優しいデジタル社会の実現につなげてまいります。

続いて4つ目の「瀬戸内クロスポイント構想の実現」に向け、IT産業の誘致に向け、サテライトオフィスを開設す

る事業者を支援することにより、若者のふるさと回帰とIT人材の育成を促進してまいります。市民のリテラシーの向上、若者の定着、創業支援のベースとなればと願っております。

また、コロナ禍で営業機会の縮小を余儀なくされた市内の事業者に対して、国内外の展示会等に出展するための支援を行い、販路の拡大と新たな販路獲得の機会づくりを創出します。

そのほか、農業者の生産体制の強化や、家畜伝染病の予防のための畜産事業者に対する支援を行うなど、幅広く、産業と仕事支援を充実させ、地域経済循環にしっかりとつなげてまいります。

5つ目の「島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり」におきましては、ふるさと納税制度の活用により、「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクトにご賛同いただいた、デロイトトーマツコンサルティング合同会社様、三浦工業株式会社様など16企業のほか、個人の皆様方からいただきました寄附金につきまして、プロジェクトの趣旨に基づき、そのうち90%をスタジアム建設費用として事業者に助成いたします。

なお、残る10%につきましては、本市のスポーツ振興のために活用することとなっております。スタジアムが「に

ぎわいと交流の創出拠点」となりますよう、市民一体となった魅力あるまちづくりを推進してまいります。

6月5日には、いよいよJ2昇格を誓う両クラブが雌雄を決する伊予決戦、ファーストレグを迎えます。スタジアム周辺はもとより、今治市が大いに盛り上がることを期待しています。

続いて6つ目の「ひとりひとりが輝く今治の創出」でございます。

部局の再編に合わせ、今治版ネウボラの実現に向け「今治市こども未来基金」を創設するほか、食材費が高騰する中、保護者負担を増やすことなく安全・安心でおいしい給食の提供を維持するための措置に加え、4月から保険適用となった不妊治療につきまして、治療にかかる経済的負担を軽減し、出産を前向きに検討できる環境を整えるなど、より一層、子育て支援の環境を充実させてまいります。

合わせまして、家庭で通信環境が整わない児童生徒に対して、長期休暇期間中における家庭でのオンライン学習環境を確保し、学びの充実を図ってまいります。

最後に7つ目の「防災・減災で災害に強いまちづくり」としましては、老朽化に伴います宝股山トンネルの非常用設備の更

新費用のほか、港湾施設の補修に要する費用を計上し、施設の安全性を向上させ、市民の命を守るための対策を図ってまいります。

これらのほか、国民健康保険税の税率を改定し、一人当たりの保険税率を8.57%引き上げる条例案や、小中学校に整備する電子黒板等の購入にかかる契約議案などを提出してまいります。

6月補正予算の編成にあたりましては、現下の最重要課題であります新型コロナウイルス感染症への対応と、物価高騰に直面する市民や事業者への影響を緩和するための緊急かつ機動的な対策の実施に向け、積極的に新規施策を盛り込んだところでございます。

これと並行して、市民が真ん中の理念のもと、公約に掲げる事業の着実な展開を図ってまいります。

なお、本日この後、今年度新たに始動するプロジェクトチームの任命式を行います。それぞれの政策課題に向け、意欲満々でスタートを切ろうとする彼らに、私自身大きな期待を寄せています。